

標 題 | キャベツの排水対策研修会を開催

(ダイジェスト)

水田転作のキャベツ生産については排水対策の実証ほを設置し技術の普及を図っており、今回、実証ほを活用した排水対策の研修会を開催しました。

浜田農業普及部では「水田園芸総合推進プロジェクト」の推進を図るため、「浜田地域水田園芸推進チーム」を立ち上げ、水田園芸品目としてキャベツの生産振興に取り組んでいます。しかし、管内のキャベツほ場は、排水の良くないほ場が多く、収量・品質が低迷している大きな要因となっています。そこで、本年度は水田作におけるキャベツの安定生産につなげるため、排水対策の実証ほを設置し技術の普及を図ることとしました（実証ほは園芸型高収益作物導入実践支援事業により設置）。

11月29日には、この実証ほを活用した排水対策研修会を開催し総勢18名（関係機関、生産者）の参加があり、JAから本年産キャベツの生育状況について、浜田農業普及部からは湿害の要因、明渠の排水効果など、排水対策について説明を行い、また、地域再生協から水田園芸推進に係る施策等についての情報提供を行いました。現地実証ほでは、ほ場管理者から管理状況等の説明の後、農業技術センター技術普及部から排水対策早見表の使い方と実際に早見表に基づいた調査法について、土壌環境科からは土壌断面からの土性等の診断について説明がありました。研修会では参加者は、排水対策の重要性やほ場診断による適正な土壌管理について認識を新たにしました。

今後、推進チームでは生産者の栽培技術向上支援の他、溝掘り機を所有していないために明渠を自力施工ができない生産者のための「明渠施工受委託」システムの構築等について検討することとしています。



研修会(座学)の様子



土壌断面調査の様子